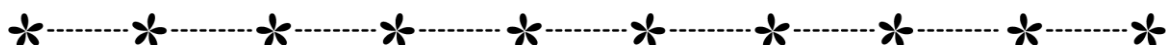


青木村子どもはつらつネットワーク通信

令和6年度 第232号 3月1日
青木村子どもはつらつネットワーク事務局発行

昨年11月30日(土)に行われた子育てフォーラムでの講演会の様子と、今年度の保小中一貫教育（各委員会）の成果と課題をお伝えします。



講演会 『体操を通して青木村を元気に！』と題して、「Sany TOMI」の森山雅斗さんに頭の体操やラジオ体操などを教えてもらいながら講演をしていただきました。森山さんの紹介と講演内容を抜粋して写真と一緒にお伝えします。

プロフィール

栃木県出身、日本体育大学時代体操部に所属、現在東御市地域おこし協力隊員として総合型地域スポーツクラブ「Sany TOMI」で年中児から小学生を対象としたスポーツクラブを担当、NHK「テレビ体操・ラジオ体操」のアシスタントとして活躍中。



講師の森山雅斗さん



まずは頭の体操



森山さんと後出しじゃんけん ✌️



左手で握手、右手でじゃんけん



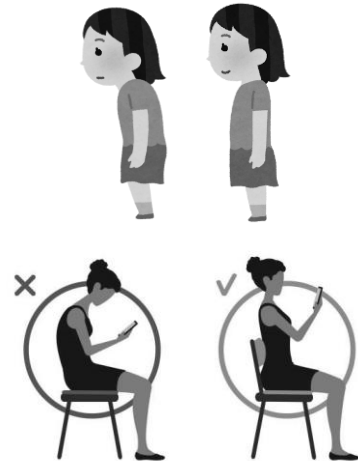
キツネとVサインを交互に



スマホで自分を撮って姿勢チェック！



健康的な姿勢を教えてもらっています

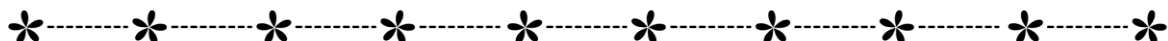


高校まで父親の影響で野球をやっていましたが、大学生になり親元を離れ、初めて体操というスポーツに出会えました。自ら頑張り、のめりこみたいと思うものに出会えた事を、今度は、子どもたちに体操を通して伝えたいと思っています。子どもたちがやりたいと思

えるスポーツを見つけられるように、体づくりの幹を作ることの大切さを教えています。その幹から出る葉や花は自分のやりたいスポーツで、この幹を育てた先に子どもたちのやりたいスポーツがあると思います。

大人が元気いっぱい活動すれば、子どももそれ以上に活動できると思っています。





令和6年度 保小中一貫教育 各委員会の成果と課題、来年度に向けて

事務局 中学校教頭 大久保 礼子

<5か条委員会>

今年度は、6月から夏休みにかけて、昨年のあおきっ子教育ポイントの第3条の変更に伴い親への啓発の在り方を委員から提案してもらい、アンケートを実施しました。そして、その結果を保育園、小学校、中学校ごとに集計しました。10月に行われた第2回委員会では親と児童生徒のアンケート集計結果をもとに、子育てフォーラムでの提案を考えました。

来年度はアンケート結果をふまえ、特に週に1度のショートメディアデーへのさらなる親の意識の向上をねらい、今後の家族関係のあり方や子どもへの指導のあり方についても考え、積極的に発信していこうと考えています。また、情報交換を通して「うちもこんなことならできそうだな」というようなことを提案していきたいです。



<子育て委員会>

「地域（人）と繋がっていこう」～ひととの触れ合いとともに成長～をテーマに、保育園、小学校、中学校の子どもたちが地域の方と関わった活動の中で、地域の皆さんが授業でどのような思いで関わってくださったのか、子どもたちは何を思い、感じたのかをお互いにメッセージを寄せ合いました。地域の皆さんや子どもたちの思いを模造紙などに写真とともにまとめ、子育てフォーラムにて展示発表をしました。その後はその模造紙を各学校、保育園で保護者や子どもたちに見える所に展示をしました。また、保護者や地域の皆さんに見ていただいた後、感想を寄せてもらえるようにポストイットを用意しました。フォーラム当日やそれぞれの学校、園で展示をし、地域の皆さんや保護者の皆さんに見ていただけたと思いますが、ポストイットへ感想を寄せて



もらえず残念でした。今後も、より多くの方に見ていただき感想を出してもらうにはどうしたら良いか考えていきたいです。

今年度も行事などで保育園、小中学校とともに地域の方々との関わりをもつ機会を大切にして、それをまとめて展示できたことはとても良かったです。地域の方々も温かい気持ちで子どもたちと関わってくださり、子どもたちも色々な活動を地域の方と一緒に経験していく中で、繋がりを確認できました。とても良かったです。来年度も地域の方との繋がりを大切にして、保育園・小中学校とともに地域の方に支えられながら人とふれあう活動を通して成長を感じられるようにしていきたいです。

＜フォーラム委員会＞

今年度は『ともに挑戦 ともに感動 ともに成長 ～家庭でできる心とからだの健康づくり～』をテーマとして11月30日（土）に子育てフォーラムを開催することができました。午前中開催で「発表→講演会→分科会」の順番で行いました。

委員会のメンバーで年度当初に「からだを動かす」運動系の講演を企画することで意思統一し、そこから講師を探しました。たまたま新聞の記事で見かけた「Sany TOM I」の森山雅斗さんを講師として提案する方向で決定し、依頼致しました。打ち合わせをしていく中で「体操を通して青木村を元気に！」と題し、ご講演をいただくことになりました。当日は頭の体操から始めて、森山さん自身の紹介、そしてみんなで身体を動かそうということでラジオ体操をする時間までの体も心も温かくなって元気の出る講演会になりました。



また、開会行事では5か条委員会が発表し、1階ロビーには、PTAによるおもてなしが復活して、保健教育委員会や保小連携委員会、子育て委員会の、保育園、小学校、中学校と地域の方との関わりや交流の様子がよくわかる展示発表を行いました。また、映像コーナーを設け、保育園や小中学生の様子などを見ていただきました。

分科会は小中連携委員会と特別支援教育委員会の2つを開催しました。第1分科会では、講演をいただいた森山雅斗さんにも参加いただき、子どもと遊びの現状について話し合いを行いました。昔と比べメディアの関わりの時間が長くなっていて、外遊びの時間はとても減っています。いかにして外へ出るように促すか考えさせられる分科会となりました。

第2分科会では、たととキッズあおきの飯島尚高さんから「障がいへの理解を深めることや考え方を考えることで全ての方が生きやすい共生社会になっていくのではないか」についてお話をいただきました。

今年度も沓掛教育長の大切にされている「青木村の教育をみんなで考えよう」という言葉の通り、教育委員会をはじめ、各委員会の各段な協力を賜り、「村を挙げての子育て」を感じる充実した 手作りのフォーラムとなりました。



来年度も、今年度と同様に午前開催で、講演会や分科会、展示発表、映像コーナーを行いたいです。

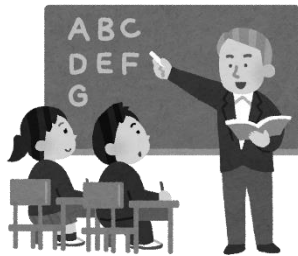
今年度の反省にもやはり、より多くの方に参加して欲しいとありましたので、保育園保護者会、小学校、中学校のそれぞれPTA役員を中心に声をかけ参加していただいたり、より多くの青木村の方に

も年度当初に予定に入れておいていただくように呼びかけをしたりして、この青木村で大切にしている「青木村の教育」を知っていただきたいです。

＜小中連携委員会＞

本年度も、「無理なく、中学校への接続をスムーズに行う」をテーマに必要な事業を行いました。計画としては例年通りですが、中学校部活動壮行会見学、こまゆみ祭見学、小中連絡会、中学校体験入学を実施しました。必要に応じた連携事業ができたと思います。次年度も、小学6年生にとって中学校生活が身近になっていくよう、柔軟に対応していきたいと考えております。

子育てフォーラム分科会では講師の森山先生、小中学校保護者の方にも参加していただき、「子どもの遊びや運動の現状と課題を考える情報交換会」と称して、分科会を実施しました。



来年度は例年、中学校英語科による出張授業を小学校で実施しているの、他の教科でも実施をし、中学校で力を入れている探究学習について小学校でも考える機会を設けられると良いと思います。

＜保小連携委員会＞

保小連携委員会では、今年度、小学校と保育園で共通テーマ「春みつけ」の活動を行い子育てフォーラムあおきで展示しました。また6月には小学校運動会に参加したり、10月には小学校焼き芋会に使うサツマイモを地域の沓掛さんの畑で収穫させていただき、小学校へ持っていったりしました。また同じく10月には小学校音楽会のリハーサルを見学しました。11月はハロウィン練り歩きを1年生と園児でペアになり仮装をして歩きました。教育委員会と役場ではお菓子をいただき大喜びでした。また、同じく11月に小学校焼き芋会のご招待をうけ参加しました。小中学校の職員による研修も夏休みに行いました。ほかにもいろいろな行事がありましたが、残念ながら参加できないものもありました。



これからも保育園から小学校へのスムーズな接続ができるように、関わりあいがある活動ができることを願います。

＜特別支援教育委員会＞

今年度特別支援教育委員会では「園児、児童、生徒の現状の共有」や「必要な支援の検討」などを行いました。また、保小・小中の移行支援については「日程と内容の確認」や「保小中での情報の共有」をいろいろな機会に行い、スムーズに移行できるようにしました。

子育てフォーラムでは「分科会の内容の検討」「分科会の準備・運営」を行いました。



今年度はたんとキッズの飯島さんを講師に「発達障がいへの理解」と題し、発達障がいへの理解を深めることや周りの関わる方たちの考え方を変えることの大切さをお話いただきました。また、支援グッズ等も紹介していただきました。

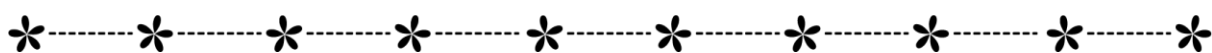
来年度も子育てフォーラムの分科会を行うなら、過去2年間の情報をもとにグループセッションの形式で、日頃の支援についてや家庭での悩みを話し合う場として考えたらどうかと思います。

＜保健教育委員会＞

今年度は、青木村で作成した「健康寿命延伸計画」の理解を深め、保小中の児童生徒の健康課題を把握し、考える活動を計画しました。活動内容としては保健教育委員会（旧井戸端会議）を7月と9月に開催いたしました。内容は1時間程度で健康寿命延伸計画を読みながら、各園・校の様子から困り事・願い等を出し合い、様子を共有し、課題解決になるように話合っています。また、子育てフォーラムへの展示参加について確認しました。子育てフォーラムでは小中合同保健委員会でまとめた小学校中学校の歯に関するデータを展示しました。



来年度は今年度同様、年数回の保健教育委員会を開催し、様子を共有していきたいと考えています。いずれは食から子どもたちの健康へとつながる委員会になれば、と願っています。また、子育てフォーラム等で歯に関する分科会を開催出来たらと思っています。



編集後記

3回に渡り「子育てフォーラム 2024」の内容と、合わせて保小中一貫教育委員会の一年間の活動内容をお伝えしました。来年度はたくさんの方のご参加をお待ちしています。

